

# 住友化学 i-農力だより

<http://www.i-nouryoku.com/index.html>

第81号 平成23年9月30日  
発行 住友化学(株) アグロ事業部  
お客様相談室 0570-058-669  
編集者 佐伯 晴子  
発行責任者 南 圭三郎

## 目次

農家さん訪問記 (65) . . . . .	p.1
住友化学アグログループ紹介 住友化学園芸(株) . . . . .	p.6
食の安全性について考える(24) . . . . .	p.7
今月のお奨め農薬 . . . . .	p.8
今月のご相談から . . . . .	p.9
お役立ちプチ情報 . . . . .	p.10
農薬登録情報 . . . . .	p.11
病害虫発生情報 . . . . .	p.14
最近の「お・美味しい!」 . . . . .	p.16
編集後記 . . . . .	p.17



ハギマシコ (アトリ科) とヤマホトトギス (ツ科)  
富樫 信樹 画

## 農家さん訪問記(65)

# 農業が大好きです！ 元気の源！

今回の農家さん訪問記は、宮崎県都城市山之口でかんしょ、だいこん、さといも、いちごなどを栽培している下玉利修二（しもたまり しゅうじ）さん（59歳）と奥様優子さん（53歳）を訪ねて色々お話を伺いました。（取材日8月30日）

## 農業一途に43年、そしてこれからも・・・



下玉利 修二さん（59歳）

宮崎市内から車で約一時間、晴天の都城市に着きました。陽射しはまだ真夏のような感じでした。

取材は、下玉利さんのいちごの直売所でさせていただきました。直売所の後ろには大きなビニールハウスがあり、苗用ハウスではたくさんのいちごの苗が植付けを待っていました。下玉利修二さんが農業を始めたきっかけは、戦後の開拓でこの地に入ったご両親の後を当たり前のように継いだことだそうです。中学を卒業してすぐに就農してから現在まで

43年間の農業経験を持つベテランです。平成7年度から始まった認定農業者制度\* )にはすぐに応募して認定農家になったそうです。

## かんしょは焼酎の原料に变身

主な栽培作物を聞いてみました。耕作している総面積は51.8(+ )ヘクタールです。

「かんしょ(コガネセンガン)」が34ヘクタールです。焼酎の原料として霧島酒造に納品しています。「さといも」は8ヘクタールで早生のいもと中生、晩生のいもを栽培して市場に出荷しています。「水稻」は1ヘクタール。「いちご(ハウス栽培)」が18アール、「漬物用だいこん」が8ヘクタールです。

栽培カレンダーは以下の通りです。

**かんしょ** = 苗は種いもから育てます。

2月：苗床作り 4月1日～6月中旬：苗切り、植え付け

8月中旬～11月末：収穫(収穫の様子を見学させていただきました)。

**さといも**

早生：2月25日～3月末：植え付け 8月末：収穫

晩生：2月～3月：植え付け 1月～3月：収穫

**いちご**

高設ベンチ栽培(ハウス栽培)6月～8月末：苗作り

9月下旬：定植 12月初め～6月10日：収穫

**漬物用だいこん** 太陽漬物に納品

9月1日～30日：植え付け 10月下旬～11月いっぱい：収穫(60日で収穫)

**水稻** 5月中旬～6月中旬：移植 9月中旬～10月中旬：収穫



収穫されたばかりのコガネセンガン

## 苦勞と転機

かんしょの栽培を始める以前は、「漬物用だいこん」と「干しだいこん」を作っていました。平成5年に台風が連続して襲来した事があり、その時には収穫しただいこんのうち、干しだいこんは何とか干せましたが、次作のために播種しただいこんの苗が何回も雨に流され、もうダメだという思いを経験しました。この時期が一番苦しかったといわれます。「干しだいこん」は手間がかり、天候に左右されて収穫が安定しない為、収穫したものをそのまま出荷する、干す手間がない「漬物用だいこん」だけにして、あとは、かんしょに切り替えました。

かんしょや漬物用だいこんは、契約栽培の為、経営が安定します。収穫時期が決まっていると、価格の乱高下がなく、収穫した後の洗いとか箱詰めが少ない分、回転良く集荷できるメリットがあるそうです。現在栽培している作物ではさといもが唯一の相場商品です。

### 農作業の人数を伺いました

修二さんご夫婦と娘の愛さんご夫婦(福留智幸さん(26歳)と愛さん(26歳);いちごを栽培)と、雇用している人が18人います。(うち中国人研修生が4人) いちご栽培以外は20人で作業しています。雇用している人は中国人研修生を除き皆さん都城市在住です。古くから働いている人は14年位前から、短い人でも7～8年は働いています。日本の若い人で農業をやろうという人がなかなかいないので、中国人研修生は欠かせない労働力になっているとお話です。中国人研修生は下玉利さん自宅の横にある宿舎に住んでいます。修二さんは人を雇用しているので、経営の安定と年間通して仕事がある栽培計画を常に考えています。

## 直販はお客様と直に話ができる貴重な機会

いちごの栽培は、優子さんが初めて手がけたものです。栽培方法を一から勉強したそうです。「栽培を始めて2~3年経ったときに娘がやってみようかなと言ってくれました。販売はすべて直売所です。売る方の楽しみもあるし、買いに来た人の声、顔が見える商売にこだわりたいし、安心・安全が売り物です」と優子さんが話してくれました。4年前から娘の愛さんに任せています。苗作りから販売まですべてです。修二さん夫婦は一切口出しをせず、たとえ栽培に失敗したとしても、「それはそれでいい勉強になる」と優子さんは言います。愛さんは、会社勤めを経て、優子さんの後を継ぎました。2年前には福留智幸さんと結婚しています。ご主人の智幸さんは今年から初めて農業に取り組むことになりました。「市場出荷だったら娘も魅力が無かったかも知れないと思うけど、私が楽しそうにやっている姿を見て、自分もやりたいと思ったようです」と、優子さんが話してくれました。ハウスの前に直営の販売所と、山之口の道の駅、青井岳（あおいだけ）温泉、百姓市の4箇所で販売しているそうです。



いちごハウス

## 手間を惜しまない・作る楽しみがある

修二さんの畑ではかんしょやさといもの栽培面積が増えています。修二さんは、荒れた土地を見ると、手を差し伸べたくなる、根っからの農業大好き人間です！耕作放棄された土地の雑草を取り、種芋の苗を植え、手間を惜しまず作物を育てれば、おのずと良い作物ができます。大変さもあるけれど、作る楽しみがある。手をかけた分、見返りがあると優子さんは話してくれました。修二さんの手がけた畑はりっぱに蘇っているそうです。そういった土地や、減反で米を作らなくなった土地に、かんしょやさといものを植えているので、栽培面積が増えているのです。修二さんに頼めば十分な管理で作物のよくできる土地に蘇るということで、耕作を止めた畑を修二さんに借りて欲しいと思う人が多数いるとの話です。

### 夫婦のこだわり・・・後継ぎ

修二さんご夫婦は現在は個人農家として農業を行なっています。農業法人化は今後後継ぎがはっきりすれば検討するが、現在は考えていないとのこと。いちごの栽培はすでに娘夫婦が責任を持ってやっているが、それ以外の栽培についても、娘夫婦が後を継いでくれたらうれしいけれど、無理強いはしない。体力に限界を感じたら、農業をやめるつもりですと言われる優子さんに潔さを感じました。何よりもお話を伺って、頼もしく感じたのは【農業が好き！・楽しい！】と、言い切った時の優子さんの顔がはつらつとしていた事です。ステキな言葉に感動しました。そして、こうも話してくれました。「家で仕事の愚痴を言ったことがないんですよ。きっと娘は、そういう両親の姿をみて、農業って楽しいのだらうと思ってくれたのかも」と。また、娘に対して一度も農業を継いで欲しいと言った事はないのですが、自分（優子さんの）の背中を見て、愛さんが、自分からいちご栽培をしたいと言ってくれたと話してくれました。なんともステキなお話です。



智幸さん・愛さん夫婦&amp;優子さん・修二さん夫婦

## 今年の農作業

かんしょ畑に案内していただきました。今年は雨が非常に多く畑に入れぬ日が多かったため、害虫や雑草の防除適期を守れず、防除に苦労されたそうです。



かんしょ畑にて 優子さん



かんしょ畑にて 修二さん

良い作物を作り納品することが大事なんです。それは納品先に対する信用です。減農薬を心掛けているけど、どうしても必要な場合には最低限の農薬を使ってしっかりと防除しないと良い作物は作れま

せんと、優子さんは話してくれました。

### 問題害虫と防除剤

- ・かんしょ コガネムシ対策にダントツ粒剤を使っています。
- ・だいこん キスジノミハムシ（フォース粒剤）、ネグサレセンチュウ（ネマトリン粒剤）
- ・さといも センチュウ（D-D剤）、アブラムシ類（アクタラ粒剤5）

粒剤は広い畑では使い易いので良いそうです。除草剤の散布は優子さんの担当で、約40ヘクタールを一人で散布したそうです。相当の重労働です。



減反の水田に栽培されていたかんしょの収穫の様子を見せていただきました。機械で掘り返したかんしょの細い根を取り除く作業をしていました。強い陽射しを遮るために大きなパラソルを持ちながらの作業です。霧島酒造に納品する大きな袋に収穫したかんしょを入れます。大きなパラソルは、さといもの収穫の時にも使っているそうです。取材した日は、風が強く吹いていて、パラソルが風に煽られていました。一日中、同じ姿勢での作業は、大変だなあと思いました。



かんしょは、畑と減反された水田で栽培しています。水田だったところは、土に湿りがあるので、かんしょが痛みやすい為、手早い作業を求められます。その為みなさん、黙々と作業をしていました。

最後に、今年1月に噴火した新燃岳の事について聞いてみました。相当量の降灰があった事はニュースで知っていましたが、実際に被害があったのか等を聞いたところ、畑は収穫の後で大丈夫でしたが、灰はビニールハウスの屋根に積もり、昼間なのにハウス内が真っ暗になった

そうです。ハウスを2回洗ったそうです。何度か灰を落としましたが、落とした灰は非常に重たくて処理も大変だったそうです。それでも、東日本での大震災や原発に比べたら、大変だったなんて言えないと、被災された人々に対する気遣いの言葉がありました。【取材当日のニュースで新燃岳はレベル3（入山規制）でした。】

収穫真っ盛りの忙しい時に私たちの取材のために時間を割いて下さった、下玉利さんご家族の皆様どうもありがとうございました。家族旅行についてお聞きしました。年に2回程旅行に行かれるそうですが、農作業をしている時が気持ちが充実し、また楽しいですとのお話です。下玉利さんご夫婦は本当に農業が大好きなんだ！と改めて感じました。これからもどうぞお元気で大好きな農作業に励んでください。また、下玉利さんをご紹介していただき、色々説明をしていただきました、大林商事有限会社 専務 林 潤一郎様には大変お世話になりました。林様のお気遣いで、霧島酒造の焼酎工場の見学をさせていただき、下玉利さんのところで収穫されたかんしょが、どのように焼酎に変わって行くかの工程の一部を見る事ができました。とても勉強になった取材です。

\* 認定農業者制度とは、農業経営基盤強化促進法に基づき、効率的で安定した魅力ある農業経営を目指す農業者が自ら作成する農業経営改善計画（5年後の経営目標）を、市町村が基本構想に照らして認定し、その計画達成に向けて様々な支援措置を講じていこうとするもの（農林水産省・経営局経営政策課）

新燃岳とは、九州南部の霧島山中央部（鹿児島、宮崎両県境）に位置する活火山、標高1421m。平成23年1月27日、52年ぶりに爆発的噴火をした。都城市や鹿児島県霧島市などには灰が降り、農作物に被害が出た。

（手塚・鳥取）

[目次へ戻る](#)

住化アグログループ紹介

住友化学園芸株式会社



住友化学園芸

除草剤

ダブルの成分でワイドな効きめ

スギナに効果スピードアップ3倍 (春～初夏・当社従来品比)

# 草退治シャワーワイド

農林水産省登録第 22291 号 [有効成分] グリホサートイソプロピルアミン塩...1.3% MCPA イソプロピルアミン塩...0.25%

## 木の下でも使えます

樹木類の下草雑草を退治できます。

## すばやい効きめがあります

スギナは散布翌日から枯れ始め、当社従来品の3倍のスピードで枯らします。

## しっかり枯らします

グリホサートの含有量を30%アップし(当社従来品比)し、つこいササ、ドクダミも退治します。

## 根まで枯らします

成分は茎や葉から吸収され、根まで浸透して枯らします。



2入

【適用雑草と使用方法】 は本剤及びその有効成分を含む農薬を年間に同一場所に使用できる総使用回数の制限を示す。

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量	総使用回数	使用方法
樹木等	公園、庭園、堤とう、駐車場、道路、運動場、宅地、のり面、鉄道等	一年生雑草 多年生雑草 スギナ	雑草生育期 (草丈30cm以下)	20～40ml/m <sup>2</sup> (原液散布)	本剤：3回以内 グリホサート：3回以内 MCPA：3回以内	植栽地を除く 樹木等の周辺 地に雑草茎葉 散布
		ササ類	雑草生育期 (草丈50cm以下)	40～80ml/m <sup>2</sup> (原液散布)		
樹木類		一年生及び 多年生雑草	雑草生育期 (草丈30cm以下)	20～40ml/m <sup>2</sup> (原液散布)	本剤：3回以内 グリホサート：4回以内 MCPA：3回以内	雑草茎葉散布

使用に際しては必ず商品の説明をよく読んで、記載内容に従ってお使いください。

草退治シャワーワイドのお問い合わせは…住友化学園芸(株) 電話 03-3551-1128 まで

[目次へ戻る](#)

**食の安全性について考える(24)****調理・洗浄の効果**

挿絵：加藤さん

農薬を取り扱うにあたり、大きな3つの安全性が問われることになる。

第1は、農薬の取扱者すなわち農薬の製造、散布作業などに従事しているものが被害にあう場合。第2に、農薬が作物に残留し、それが摂取されて人体に影響を及ぼす場合。第3に、農薬が自然環境や生態系に及ぼす影響などについてである。特に、近年は環境運動の高まりとともに農薬への関心も一段と強まっている。それらのことを踏まえ、農薬の安全性について、わかりやすく解説した農薬工業会編「なるほど！ なっとく！ 農薬 Q&A」をしばらく掲載したい。（古津）

**Q：野菜や果物に残留した農薬を調理の段階で落とすことができますか。**

A：農薬の種類や農作物での残留場所によって程度は異なりますが、落とすことはできます。ですが、たとえ野菜や果物に農薬が残っていても、もともと健康に影響を及ぼすような量ではないので、そのまま食べても問題はありません。普通は水で汚れを落として皮をむいたり、また、熱を加えて調理をしたりするのでさらに減少します。神経質にならず、普段どおり洗って料理の腕をふるっていただくのが最もよい方法なのです。

洗浄や調理によりどれだけ農薬は減るのでしょうか。

多くの研究報告がありますが、ここでは伊藤らが行った実験の結果をご紹介します。実験では、結果がよく分かるように、わざと農薬の溶液に漬けたり塗ったりした野菜や果物を使って、「水洗い」「皮をむく」「揚げる」「炒める」「ゆでる」の効果のみました。

通常は調理する前や食べる前には材料を水洗いしますが、それだけでも水に溶けやすい農薬などはある程度減ることがわかりました。最も効果のあった方法は、皮をむくことです。ほとんど農薬は取り除けました。農薬は作物の表面に留まることが多いためです。調理法で効果の大きかったのは「油で揚げる」ことです。ついで「炒める」、「ゆでる」の順でした。国や全国の自治体による調査結果が示すように、日本国内で生産される農作物からは農薬は検出されないか、検出されてもごくわずかの量です。実際、野菜や果物をそのまま食べても健康への影響は考えられないレベルの量です。しかし、よく洗って土や汚れをとるのは衛生面からも必要です。また、料理の仕方を工夫すれば豊かな味の世界が広がるのではないのでしょうか。

**参考資料**

- \* 杉本達芳『残留農薬のここが知りたい Q&A』1995、日本食品衛生協会
- \* 梅津憲治『農薬と人の健康』1998、日本植物防疫協会

[目次へ戻る](#)

### 今月のお奨め農薬

## はくさい、キャベツの害虫の同時防除に

# アディオン乳剤、アグロスリン水和剤

秋まきはくさい、キャベツの主な害虫はコナガ、オオタバコガ、ヨトウムシ類、アブラムシ類です。これらの害虫の同時防除には適用害虫の範囲が広いピレスロイド系殺虫剤のアディオン乳剤、アグロスリン水和剤がお奨めです。

ピレスロイド系殺虫剤は除虫菊に含まれる殺虫成分天然ピレスロイドを参考に化学合成した殺虫剤です。天然ピレスロイドは蚊取り線香に利用されていましたが、農業用殺虫剤としては光安定性がなく短時間で光分解して効力を失うために利用できていませんでした。

1960年代に初めて光安定性が備わったピレスロイド系化合物が発明されました。その後ペルメトリン(PERMETHRIN；アディオンの有効成分)、シベルメトリン(CYPERMETHRIN；アグロスリンの有効成分)が発明され、農業用殺虫剤として開発されました。

ペルメトリン、シベルメトリンは昆虫の神経系に作用して殺虫活性を示します。昆虫はペルメトリン、シベルメトリンの作用によって神経系が異常興奮し、痙攣・ノックダウンの症状を示してまもなく死にます。

### 【 アディオン乳剤、アグロスリン水和剤の特長 】

殺虫スペクトラムが広い：

- ・ヨトウムシ、コナガ等のチョウ目、アブラムシ類、オンシツコナジラミ等のカメムシ目、ハモグリバエ類等のハエ目、アザミウマ目等の幅広い種類の害虫に優れた殺虫効果があります。

優れた速効的と残効性：

- ・薬液が害虫にかかると短時間で接触毒性効果を発揮し、ボクシングのKOパンチのようなノックダウン効果を示します。
- ・高い殺虫活性と耐光性、耐雨性があるので、優れた残効性を示します。

低温時に活性が高まります

特異な忌避作用：

- ・特異な忌避作用(産卵抑制、摂食阻害、寄生阻害)で作物を守ります。また、フラッシュアウト(潜伏場所から飛び出てくる)効果で隠れた害虫も逃しません。

### 【 アディオン乳剤、アグロスリン水和剤の上手な使い方 】

(1) 害虫の発生初期をねらう：

- ・優れた残効性を活かし、害虫の発生を見たらただちに散布します。

(2) 複数種の害虫の併殺をねらう：

- ・広い殺虫スペクトラムと生育ステージを問わない強い殺虫力を活かして、同時に発生している複数種の害虫を同時に防除します。

(3) 他剤とのローテーション散布を行なう：

- ・抵抗性の発達やリサージェンス<sup>\*</sup>を抑えるため、作用の違う他系統殺虫剤を組み入れたローテーション散布を行ないます。リサージェンス<sup>\*</sup>：圃場で農薬(殺虫剤)を施用した後、対象害虫或いは他の害虫が増加すること。原因は主に農薬の影響による天敵生物の減少とされる。

(4) 葉裏まで十分に散布する：

- ・接触剤であり、浸透性・ガス効果がないので、掛けムラがないよう葉裏まで十分に散布を行います。

なお、蚕、ミツバチ、マルハナバチ、および魚介類に対して強い影響があるので使用を避ける等の注意が必要です。

(鳥取)



[目次へ戻る](#)



今月のご相談から

## 野菜などの害虫防除剤

### 「プレオフロアブル」について教えてください！

**Q1:** 「レタス」にハスモンヨトウが発生し始めたので、プレオフロアブルで防除したいと考えています。ところで、ハスモンヨトウの生態について教えてください。ハスモンヨトウが見えなくなりどこへ行ったか不思議なのですが、昼間は土にでも潜るのでしょうか？

**A1:** ハスモンヨトウは、卵からふ化した直後から2～3齢幼虫までは、集団で葉裏を食害します。このタイミングに葉裏にも薬剤が十分かかるように散布することが重要です。なお、5～6齢幼虫になると食害量も増大し、さらに昼間は土中に潜っていますので幼虫がいなくなったように思われるかも知れませんが、夜になると土から出てきて食害します。こうなると防除は困難です。

**Q2:** いつもヨトウムシに加害されて、近所の人に分けてあげられるような「はくさい」が収穫できなくて困っています。

プレオフロアブルがヨトウムシに良く効くということですが、余り同じ薬剤を使うのは好ましくないと聞いていますが、2回くらい使っても大丈夫ですか？

「はくさい」の内部から食害されているようですが、いつ頃散布するのが効果的でしょうか？

**A2:** 確かに同一系統の農薬を連用すると、害虫に対する感受性が低下する恐れがあります。従って、本剤は2回まで使えますが、プレオフロアブルの連続使用は避けて、作用性の異なる殺虫剤を組み合わせることで防除して下さい。はくさいの内部から食害されているということは、結球前にヨトウムシが食入している為です。プレオフロアブルを「結球初期」に重点的に使用することで、食害を防ぐことができます。

**Q3:** シダ類の観葉植物「レザーリーフファン」を、ハウスで栽培しています。最近ハスモンヨトウの被害が多くて困っています。プレオフロアブルは使えますか？

**A3:** プレオフロアブルは、平成22年10月27日付けで「花き類・観葉植物/オオタバコガ」に適用拡大になりました。よって、「レザーリーフファン」にも使えます。「花き類・観葉植物」にはオオタバコガのみの適用ですが、他の作物ではハスモンヨトウに登録がありますので、レザーリーフファンでもオオタバコガとの同時防除効果は期待できます。なお、「花き類・観葉植物」のように、適用作物群に属する作物又はその新品種に、はじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。

**Q4:** プレオフロアブルは「だいこん」のつまみ菜、間引き菜に使用出来ますか？

**A4:** 「だいこん」のつまみ菜は本葉1.5～2葉期、間引き菜は本葉4～5葉と規定されています。従って、プレオフロアブルの使用時期が「収穫14日前まで」となっていますので、散布してから14日後に、だいこんの生育段階が上限以下であれば出荷可能です。

(注) プレオフロアブルについては、2009年9月発行「i - 農力だより NO.55」でも取り上げていますので、併せてご覧ください。



ハスモンヨトウ幼虫

(小川)

[目次へ戻る](#)

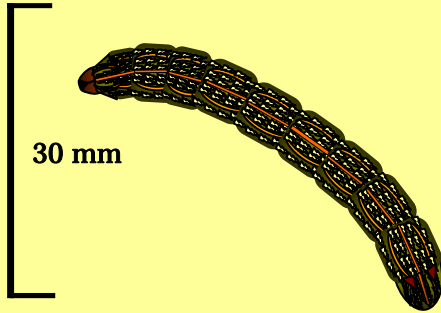


## お役立ちプチ情報

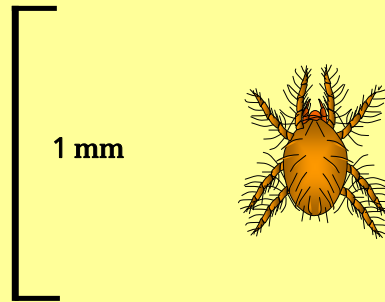
今月の話題は・・・

### 害虫、病害、雑草の見極め（害虫編）

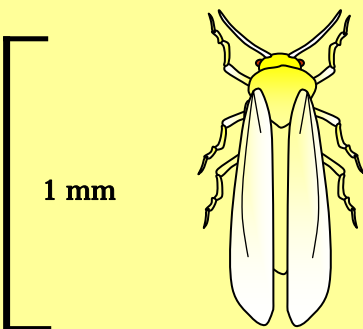
防除する対象を見極めないと、適正な農薬を選択することができません。  
害虫の名前をしっかりと把握しましょう。



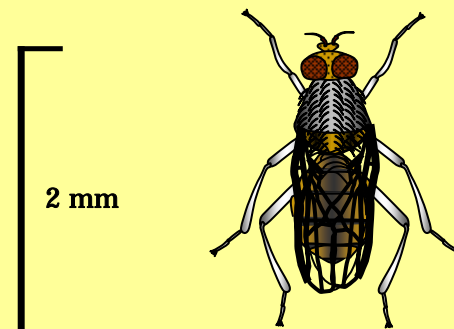
ハスモンヨトウ(幼虫)



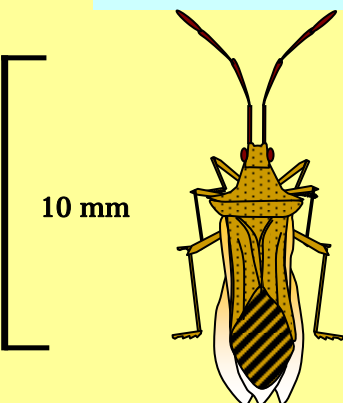
ナミハダニ



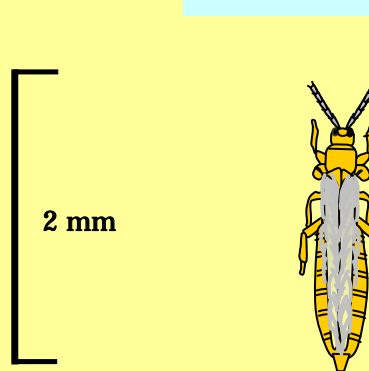
タバココナジラミ



ハモグリバエ



ホソハリカメムシ



ミカンキロアザミウマ

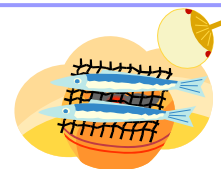
次回は・・・害虫、病害、雑草の見極め（病害篇）です。お楽しみに

（山脇）

[目次へ戻る](#)

**農薬登録情報**

8月24日～9月7日の主な適用拡大の内容です


**適用拡大**

種類	薬剤名	変更点	作物	病害虫名	使用量ほか	
殺虫剤	イカズチ WDG	害虫追加	りんご	「モモシンクイガ」を「シンクイムシ類」に変更		
	ディアナ SC	害虫追加	キャベツ	アザミウマ類 オオタバコガ	2500～5000倍 100～300L /10a	収穫前日まで 2回以内 散布
				タマナギンウワバ ウワバ類に変更		
		害虫追加	トマト ミニトマト	アザミウマ類 コナジラミ類	2500倍 100～300L /10a	収穫前日まで 2回以内 散布
				ハスモンヨトウ	2500～5000倍 100～300L /10a	
		害虫追加	なす	ハスモンヨトウ ハモグリバエ類	2500～5000倍 100～300L /10a	収穫前日まで 2回以内 散布
		希釈倍数 変更		アザミウマ類	2500倍	2500～5000倍に変更
		害虫追加	ねぎ	シロイチモジヨトウ	2500～5000倍 100～300L /10a	収穫前日まで 2回以内 散布
				ネギアザミウマ アザミウマ類に 変更		
		希釈倍数 変更	ネギハモグリバエ	2500倍	2500～5000倍に変更	
		害虫追加	レタス 非結球レタス	オオタバコガ ハスモンヨトウ	2500～5000倍 100～300L /10a	収穫前日まで 2回以内 散布
				ナモグリバエ ハモグリバエ類 に変更		
		害虫追加	いちご	ハスモンヨトウ	2500～5000倍 100～300L /10a	収穫前日まで 2回以内 散布
		害虫追加	茶	チャトゲコナジラミ	2500～5000倍 200～400L /10a	摘採7日前まで 1回 散布
	ディアナ WDG	害虫追加	りんご	ヨモギエダシャク ケムシ類	5000～10000倍 200～700L /10a	収穫前日まで 2回以内 散布
害虫追加		なし	ハマキムシ類	5000～10000倍 200～700L /10a	収穫前日まで 2回以内 散布	
害虫追加		もも	シンクイムシ類	5000～10000倍 200～700L /10a	収穫前日まで 2回以内 散布	

種類	薬剤名	変更点	作物	病害虫名	使用量ほか	
殺菌剤	ビームエイトゾル	希釈倍数追加	稲	いもち病	1000倍 60～150L / 10a	収穫7日前まで 3回以内 散布
除草剤	忍ジャンボ	適用地帯追加等	移植水稻	<p>・「北海道」および「北陸」を除く適用地帯に「近畿・中国・四国の早期栽培地帯」を加えて「全域(北海道、北陸を除く)の普通期及び早期栽培地帯」とし、使用時期および適用土壌を「移植直後～ノビエ2.5葉期 ただし、移植後30日まで」および「砂壤土～埴土」にまとめる。</p> <p>・適用地帯「北陸」に使用時期「移植後5日～ノビエ2.5葉期 ただし、移植後30日まで」、適用土壌「砂壤土」を追加。  <b>拡大後の適用表を別紙にまとめました(別紙 参照)</b></p>		
	バサグラン粒剤 (ナトリウム塩)	適用土壌変更	直播水稻	<p>「埴土～埴土」 <b>砂壤土を追加し、「砂壤土～埴土」とする</b></p>		
	メガゼータフロアブル	使用時期 適用土壌追加等	移植水稻	<p>・適用雑草名「オモダカ(北海道、東北、北陸、近畿・中国・四国)」に適用地帯「関東・東山・東海」を追加し、「オモダカ(九州を除く)」に変更。</p> <p>・適用地帯「北海道」の適用土壌を「埴土～埴土」から「砂壤土～埴土」に変更し、適用地帯「九州の普通期及び早期栽培地帯」の使用時期「移植後5日～ノビエ2.5葉期 ただし、移植後30日まで」を「移植後5日～ノビエ3葉期 ただし、移植後30日まで」に変更して、使用時期「移植後5日～ノビエ3葉期 ただし、移植後30日まで」、適用土壌「砂壤土～埴土」、適用地帯「全域の普通期及び早期栽培地帯」とする。  <b>拡大後の適用表を別紙にまとめました(別紙 参照)</b></p>		
	ヨシキタジャンボ	適用地帯追加等	移植水稻	<p>・適用地帯「近畿・中国・四国の普通期栽培地帯」の適用土壌に「砂壤土」を追加し、適用地帯に「近畿・中国・四国の早期栽培地帯」を加えて、適用地帯「全域(北海道、九州を除く)の普通期及び早期栽培地帯」、適用土壌「砂壤土～埴土」にまとめる。  <b>拡大後の適用表を別紙にまとめました(別紙 参照)</b></p>		

## 適用拡大後の適用表(ご参考)

## 忍ジャンボ

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植水稻	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ (東北) ミズガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類による 表層はく離 (北陸、近畿・中国・四国)	移植直後～ ノビエ2.5葉期 ただし、移植後 30日まで	砂壤土 ～埴土	小包装(パック) 10個 (200g) / 10a	1回	水田に 小包装(パック) のまま投げ入れる。	全域(北海道、 北陸を除く)の 普通期及び早 期栽培地帯
			埴土 ～埴土				北陸
		移植後5日～ ノビエ2.5葉期 ただし、移植後 30日まで	砂壤土				

## メガゼータフロアブル

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植 水稲	水田一年生雑草及び マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ (北海道を除く) ヘラオモダカ (北海道、東北) ヒルムシロ セリ エゾノサヤヌカグサ (北海道) シズイ (東北) オモダカ (九州除く) クログワイ (北陸、近畿・中国・四国) コウキヤガラ (東北、関東・東山・東海、 九州) アオミドロ・藻類による 表層はく離 (関東・東山・東海、近畿・ 中国・四国、九州)	移植後5日～ ルイ3葉期 ただし、 移植後30日 まで	砂壤土 ～ 埴土	500mL /10a	1回	原液湛水 散布	全域の普 通期及び 早期栽培 地帯

## ヨシキタジャンボ

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植 水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ (東北) ミズガヤツリ ウリカワ クログワイ (東北、関東・東山・東海) オモダカ (東北、関東・東山・東海) コウキヤガラ (関東・東山・東海) ヒルムシロ セリ アオミドロ・ 藻類による表層はく離 (東北)	移植直後～ ルイ1.5葉期 ただし、移植後 30日まで	砂壤土 ～ 埴土	小包装 (パック) 10個 (400g) /10a	1回	水田に小 包装(パック) のまま投げ 入れる。	全域(北海 道、九州を 除く)の普 通期及び 早期栽培 地帯



(佐伯)

[目次へ戻る](#)

**病害虫発生情報**

9 / 3 ~ 15

**北海道**

\* 9月5日 注意報 りんご / モモシンクイガ

当社登録薬剤:

モモシンクイガ...スミチオン水和剤40、スミチオン乳剤、ダイアジノン水和剤34、ビルク水和剤、マラソン乳剤  
シンクイムシ類...アグロスリン水和剤、アディオフロアブル、アディオ水和剤、サイアノックス水和剤、  
ダントツ水溶剤、ディアナWDG、パーマチオン水和剤、ロディー水和剤

詳細は：<http://www.agri.hro.or.jp/boujoshou/>**岩手県**

\* 9月6日 特殊報 りんご、日本なし / ヒメボクトウ

当社登録薬剤: 該当なし

\* 9月6日 特殊報 りんどう / キオビトガリメイガ

当社登録薬剤: 該当なし

詳細は：<http://i-agri.net/agri/>**千葉県**

\* 9月14日 特殊報 日本なし(幸水) / ナシシンクイタマバエ

当社登録薬剤: 該当なし

詳細は：<http://www.pref.chiba.lg.jp/lab-nourin/nourin/boujo/index.html>**岐阜県**

\* 9月14日 特殊報 りんご / リンゴハナゾウムシ

当社登録薬剤: 該当なし

詳細は：<http://www.pref.gifu.lg.jp/sangyo-koyo/nogyo/gijutsujoho/byogaichu-bojoshoyosatsu/warning/>**三重県**\* 9月13日 特殊報 キヅタ属観葉植物 / アカアシカタゾウムシ属 *Trachycyrtus* 亜属の未記載種

当社登録薬剤: 該当なし

詳細は：<http://www.mate.pref.mie.lg.jp/Bojyosyo/teikyo.htm>**滋賀県**

\* 9月13日 注意報 野菜類、花き類、だいず / オオタバコガ

当社登録薬剤:

野菜類...エスマルクDF、フローバックDF、ゼンターリ顆粒水和剤(はくさいを除く)、プレオフロアブル  
(キャベツ、はくさい、トマト等に登録がありますので、適用作物を確認してください)

花き類...プレオフロアブル、エスマルクDF(きく)

だいず...該当なし

詳細は：<http://www.pref.shiga.jp/g/byogaichu/index.html>

**山口県**

\* 9月5日 注意報 だいず、野菜類、花き類 / ハスモンヨトウ

当社登録薬剤:

だいず・・・パーマチオン水和剤、プレオフロアブル、フローバックDF、ランネート45DF

野菜類・・・プレオフロアブル、フローバックDF、ゼンターリ顆粒水和剤、ランネート45DFがハスモンヨトウに

登録がありますが、適用作物を確認してください。

きく、カーネーション・・・ゼンターリ顆粒水和剤

詳細は：[http://www.nrs.pref.yamaguchi.lg.jp/hp\\_open/a1720160/00000001/index.htm](http://www.nrs.pref.yamaguchi.lg.jp/hp_open/a1720160/00000001/index.htm)

**佐賀県**

\* 9月13日 特殊報 日本なし / チュウゴクナシキジラミ(仮称)

当社登録薬剤: 該当なし

詳細は：<http://www.pref.saga.lg.jp/web/shigoto/1075/32933/ns-nousisetu/boujocenter/13693.html>

**適用内容を確認して、地域に適した薬剤をお使いください。**

(小川)

[目次へ戻る](#)



# 最近の「お・・美味しい！」

弊社相談室から佐伯がお送りします  
最近の「お・・美味しい！」  
女性の目・主婦の目・はたまた酒呑み??の目(笑)で  
毎月「これぞ！」というものを紹介します。  
どうぞお楽しみに♪♪

## 秋はフルーツの季節！

暑い夏もどうやら過ぎ去って、最近少しづつ秋を感じるようになってきました。夏で疲れた体に優しく効くのがみずみずしいフルーツたちです。夏も後半になると梨がスーパーに並び始めます。実は私、大の梨好きでして梨がお目見えすると、まだまだ夏真っ盛りとはいえ、なんとなく秋を感じられて嬉しくなるものです。梨をスーパーで購入してもよいのですが、今年は、ちょっと足を延ばして農園で直接買ってきました。本コーナー「お・・美味しい」の記念すべき第1回目の記事にも書いたのですが、私は千葉県市川市に住んでいます。車で隣の松戸市近辺まで行くと、そこには梨街道と呼ばれる梨農園さんが密集するエリアが現れます。街道沿いには「梨宅配便」ののぼり旗があちこちにはためいており、道の両側には、「直売所」と呼ばれる梨農園に隣接した売り場が乱立しています。こじんまりした直売所から、「ここの主か？」と思うような立派な店構えの直売所までいろいろあってどこに入ろうか迷ってしまいます。私が行った時は時間も午後を回っており、少し出遅れた感じの時間帯だったので、すでに売り切れてしまっている直売所もありました。そこで、まだ売ってくれそうなお店を探して入ってみました。招き猫や、



大きな達磨が飾ってあり、なんだかとっても立派な感じのお店。どうやら、裏はそのまま梨農園になっていて、そこからもぎたてを運び込んでいるようでした。お客さんは私たちの他にも何家族か来ていて、箱でそのまま買って行く人も多数いましたが、私たちはさすがに箱では食べきれないので、10個入りの袋詰めのものを買いました。品種はもちろん幸水です。小ぶりの実でしたが、もぎたての新鮮果実！しかもやはり直売なのでスーパーで買うより安い(笑)。さっそく、梨

街道を来た道を戻り、自宅に戻ってから夕食準備をするついでに皮をむいて冷蔵庫で冷やしておきました。夕食後にフルーツがあるって、なんだかとっても贅沢で幸せな気分になります。特に、梨は、皮をむいておいても変色しないので、夕食支度のついでにむいておける点でもとても助かります。で、幸水です。シャキシャキの歯ごたえと、みずみずしさ。果物特有のくどくない甘さ。本当においしくて、夏で疲れ気味の体に染み込んでいくようです。これからはしばらく夕食後の梨が続くと思うと余計幸せな気持ちになります。

**秋は梨だけではありません。**色とりどりのぶどうや、栗なんかでも売り場を賑わします。でも私のお気に入りには、まだ色が青くて小さいミカンです。甘いというよりはちょっと酸味が強いかな？という感じのミカンですが、これがやっぱり夏で疲れた体に元気を与えてくれます。そんなわけでスーパーの売り場でネットに入った小ぶりの青いミカンを見つけるとついつい買ってしまいます。こちらは皮が手でむける手軽さと、梨同様、小ぶりなので量的にも夕食後にぴったりです。たいがいこの時期、我が家には梨とミカンが常備されています。その日の気分によって食べ分けているといった感じです。考えてみればぜいたくな話ですね。



**季節が進めば、また違った果物が登場します。**そういえば、今年はボヤボヤしていたら初夏の味覚、これまた大好きな大石プラムを食べ損なってしまいました。気づかぬうちにどんどん季節が進んでしまいますので、フルーツの旬に乗り遅れないようにしたいものです。これからの季節、いろいろ美味しいフルーツが出てきます。皆さんもぜひ楽しんでくださいね！（佐伯）

[目次へ戻る](#)



## ~ New ! 編集後記 ~



農家さん訪問記の取材で宮崎県都城市の下玉利さんご一家をお訪ねしました。下玉利さんご家族の農業に対する熱い思い「農業大好きです！元気の源！」に感銘を受けました。

下玉利さんのお話を伺っている中で、やはり「農業が好きだ。農業がしたい。」という会社を辞めて就農した昔の同僚 A 君を思い出しました。A 君は大学卒業後青年海外協力隊として中米の国に派遣され、日本に帰国後住友化学に入社しました。数年間の住友化学在勤中に同じ職場で働きました。A 君は現在花き栽培農家になっていますが、そこに至るまでの苦労と波乱万丈（初め畜産団地に入植して失敗、多額の借金 昼～夕の学習塾と夜間のコンビニの1日十何時間の労働、学習塾の成功で借金返済 学習塾を売却した資金で、花き栽培農家として再度就農）は彼の「農業をやりたい。」という強い気持ちがあってはじめて達成できた后感嘆しています。また、彼の奥さんの助けとナイス・リードがあって達成できたとも思っています。（下玉利さんの奥様の内助の功もすばらしいと思っています。）

農林水産省の資料では、認定農家数：249,376、特定農業法人：892、特定農業団体：1802（H22年3月末現在）となっています。これらの農家（農業法人、農業団体）は下玉利さんや A 君と同じように、「農業大好き」という人が大部分だと思います。耕作面積が大きく出来れば利益の出る農業ができるとの分析レポートも出ていますが、これらの方々を中心として早く競争力のあり、利益の出る農業体制が出来ることを望んでいます。

経済は既に国際化が進んでいますが、今後さらに TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）を始めとして、FTA（自由貿易協定）EPA（経済連携協定）等の貿易協定への対応がさらに大きな影響を経済に与えると予想されます。

（鳥取）

農家さん訪問の取材をする度に、初めて訪問する県が増えています。今回の宮崎県も初めての地です。到着したのが夜だったので、上空から景色を見ることは出来ませんでした。南国風の樹木と、ムツとする熱気に、これが宮崎かぁ・・！と思いました。宮崎市までは特急電車で7分くらい。空港で感じた熱気はなく爽やかな風が吹いていました。初めて訪れた町で、楽しむといえば、やはり美味しい食事です。宮崎は「地頭鶏の炭火焼」が有名とか・・。しっかりいただいてきました。いずれも美味しかったです。



今回の農家さんは、焼酎の原料となるかんしょを栽培しているという事で、宮崎の焼酎も少しいただきました。焼酎はロックが好きです。取材では、農業が大好きと言うご夫婦のお話を聞くことが出来、焼酎の出来る工程を学び、短かったけれど中味の濃い宮崎取材になりました。

（手塚）

次月号の - 農力だよりは  
10月31日(月)の発行予定です。  
どうぞ楽しみに！！

[目次へ戻る](#)